

試験日程

受験型	学部・学科	試験日	試験場
課題提示型小論文、基礎学力型 A	全学部・全学科	2024年11月13日（水）	本学・東京・名古屋 ・大阪・岡山
基礎学力型 B		2024年11月14日（木）	

試験場（課題提示型小論文、基礎学力型（A・B）共通）

1. 全試験場（本学含む）において、同一日程・同一問題にて試験を実施します。
2. 場所の詳細は裏表紙（本学）および8～9ページをご確認ください。
3. 試験場はWeb出願時に入力してください。出願後の変更はできません。
4. 学外試験場は収容人数に制限があります。志願者数が収容人数を超えた時に試験場を変更する場合には、連絡しますので注意してください。また、学外試験場には、控室はありませんのでご了承ください。

集合時間 課題提示型小論文（11月13日実施）

集合時間…10時10分（9時00分より試験室への入室が可能です。）
※全試験場（本学含む）において、同一時間割・同一問題で実施します。

試験科目 課題提示型小論文（11月13日実施）

学部・学科	試験時間	試験科目	配点
全学部・全学科	10：30～11：30（60分）	小論文	100点

出題および合格へのアドバイス（課題提示型小論文）

2025年度学校推薦型選抜「課題提示型小論文」では、次の二つの課題が出されます（課題1・2の合計で100点満点）。

課題1 文章要約

与えられた文章を要約する課題です（100字以内）。
※試験当日、課題文を提示します。

課題2 小論文

以下の課題にたいする論述をしてもらいます（600字以上800字以内）。

人はなぜ旅をするのだろうか。あなた自身のこれまでの旅の経験や、これからやってみたいと思い描いている旅の計画、もしくは身近な人や書物等から聞き知った体験談などを具体例として挙げながら、人が旅をする理由や目的、意味や意義について、あなたの考えを述べなさい。小論文にふさわしい構造や展開を練り、根拠を示しながら論述すること。

合格へのアドバイス

課題1では、文章を適切に理解し、指示された字数で要約することが求められます。筆者の伝えたいことを、文意を変えずに簡潔にまとめる力を身につけておかねばなりません。対策としては、日ごろから論理構造がしっかりした文章を読み、それを要約する練習をするとよいでしょう。元の文章の骨子を見極め、枝葉末節を省き、内容を凝縮する技術が問われます。

課題2は、自分の考えを、論述文の形で述べる問題です。論述文作成の重要なポイントは、「論理性」と「考えの筋道」です。自分の印象を思いつくまま自由に書き連ねるような感想文とは異なり、論述文にはより秩序だった構成・展開が求められます。良い論述文を作成するには、普段から構造に気を付けて文章を読むようにし、とくに、書き手がそこで何を伝えたいのか、その主張はどのような論拠や事例に支えられているか、文章全体がどのような組み立てで展開されているか、などに留意するとよいでしょう。そして自分で論述文を書くときには、自分の文章が、論述文に求められる主張や論拠、構成や構造を、明快に備えているかを考えるようにしましょう。

※試験当日は、資料等の持ち込みは禁止です。下書用紙を配布します。